

ひなたの街団地・管理組合

風水害及び地震

対応マニュアル

令和 3 年 9 月

目次

1. 災害に備えての事前準備について

2. 風水害が発生した場合の対応

3. 地震が発生した場合の対応

4. ひなたの街団地近くの避難施設

5. 通報マニュアル

6. チェックシート

1. 災害に備えての事前準備について

(1) 立地環境と災害予測

起こりうる災害は、建物が立地している地盤や地形など立地環境から予測できる場合があります。事前にハザードマップや立地状況を確認し、家族会議で災害予測を話し合う。

(2) 排水対策及び防水対策の徹底

ア、排水対策、防水対策の実施及び点検

各家庭付近の排水溝などの泥を除くなど排水点検を行うとともに、外壁や建物の周りの設置されているもの点検を実施し、不備があれば補修をする

イ、棚及び冷蔵庫等の転倒防止

廊下、リビング及び居室には転倒して避難の妨げとなる不必要な物は置かないようにする。棚、転倒しそうな物等は床、壁に金具等で固定する

(3) 避難方法等の確認

ア、避難地の確保

あらかじめ避難先を複数確保しておきましょう。また、災害によって避難先を分ける必要があります

イ、安全な避難経路の確保

避難場所への避難にあたっては、いくつか安全な避難ルートを定め、家族会議で話し合いを事前に行う。

ウ、避難に必要な時間

避難手段により、避難時間がどれだけかかるかあらかじめ計測する。

工、車両での避難場所への避難

徒歩での避難が困難な場合は、交通状況を必ず確認して車両での避難を行う。

オ、持参した方が望ましい物品

各家庭であらかじめ準備しておいた災害用持ち出しセットやの避難用持ち出し袋、特に、通常の避難所では準備することが困難な大人用紙おむつ、柔らかい食糧、常備薬は必需品となりますので、避難時には必ず持ち出すよう、準備を行う。

(4) その他の対策

ア、各家庭の電気、ガスの確認

電気、ガスの供給元栓の場所を確認し災害時は元栓を止める。

火気使用器具(ガスコンロ)等や可燃性危険物からの出火や延焼に対する予防策を検討

イ、ひなたの街団地組合員との連絡体制の整備

ひなたの街公式ラインにて一斉配信。

2. 風水害が発生した場合の対応

(1) 気象情報、予兆現象の注意

大雨や台風時は、テレビ、ラジオ、インターネット等で気象庁の発表に注意する。

【気象警報・気象注意報】

警報……重大な災害が起こる恐れがある旨を警告するために発表される

注意報……災害の起こる恐れがある旨を注意喚起するために発表される

種類	警 報	注 意 報
大雨	大雨によって重大な災害が起こるおそれのあると予想される場合に行う	大雨によって災害が予想される場合に行う

洪水	大雨、長雨などの現象により河川の水が増し、重大な災害が起こると予想される場合に行う	大雨、長雨などの現象により河川の水が増し、災害が起こると予想される場合に行う
大雪	大雪によって重大な災害が予想される場合に行う	大雪によって災害が予想される場合に行う
暴風 (強風)	平均風速がおおむね毎秒 20 メートルを超え、重大な災害が起こると予想される場合に行う	平均風速がおおむね毎秒 10 メートルを超え、主として強風による被害が予想される場合行う
雷	/	落雷により被害が予想される場合に行う

【土砂災害の予兆現象】

がけ崩れ……崖から小石がぱらぱら落ちてくる、崖から水がわきでている など

地すべり……地面にひび割れが出来る、斜面から水が噴き出す など

土石流………山鳴りがする、雨が降り続いているのに川の水位が下がる など

警報、注意報等が発表された時では避難が遅れる可能性があります。事前に天気予報や外の天候を注意するなどをして早めの行動が必要となりますので、前もって避難開始等の目安を決めておく

地震が発生した場合の対応

(1) 地震について

ひなたの街付近では次のような地震が想定されています。

○活断層による地震

平成 24 年の福岡県の調査によると、市内を通る活断層による地震が起った場合、

市内で最大震度6弱(一部6強)の揺れが想定されています。
(今後30年以内の発生確率は極めて低いとされている)



資料：福井県地図に関するアセスメント調査報告書をもとに作成
須田断層については、九十九里や妙義防災計画をもとに作成

○プレート境界で起こる地震

日本周辺では、海のプレートが沈み込む時に陸のプレートを地下へ引きずり込んでいきます。陸のプレートが引きずりに耐えられなくなり、跳ね上げられるように起こるのが、プレート境界の地震です。市内では最大震度5弱から5強の地震が想定されています。



(2) 地震の震度と感じかた

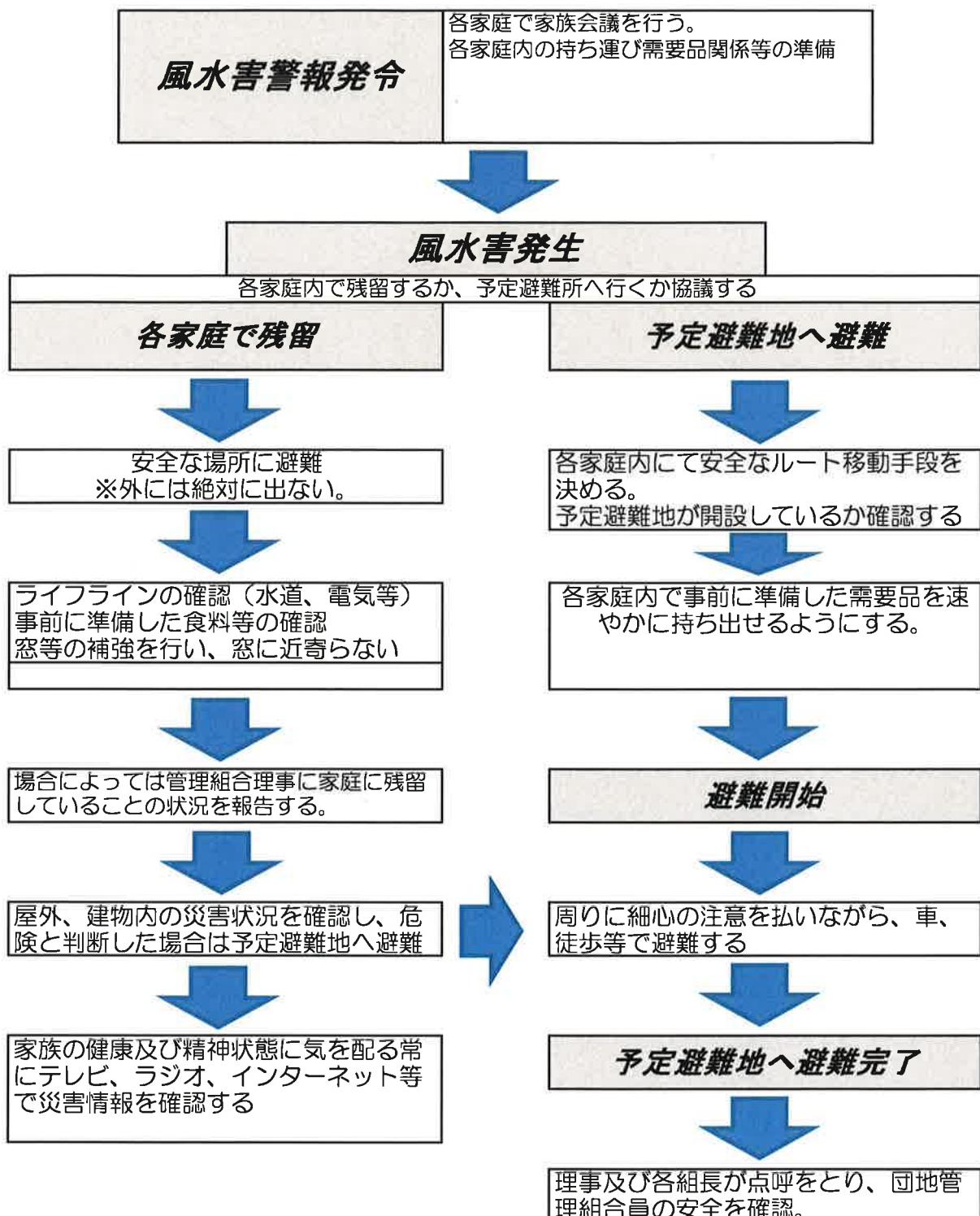
震度	感じかた、周りの状況
4	ほとんどの人が驚く。 電灯などの吊り下げ物は大きく揺れる 座りの悪い置物が、倒れることがある。

5 弱	大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる棚にある食器類や本が落ちることがある。
5 強	物につかまらないと歩くことが難しい。 固定していない家具が倒れることがある。 補強されていないブロック塀が崩れがある。
6 弱	立っていることが困難になる。 耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れる場合もある。
6 強	はわないと動くことが出来ない。飛ばされる可能性もある。 固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多くなる。 耐震性の低い木造建物は、傾くものや倒れるものが多くなる。
7	耐震性の低い木造建物は、傾くものや倒れるものが多くなる。 耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが多くなる

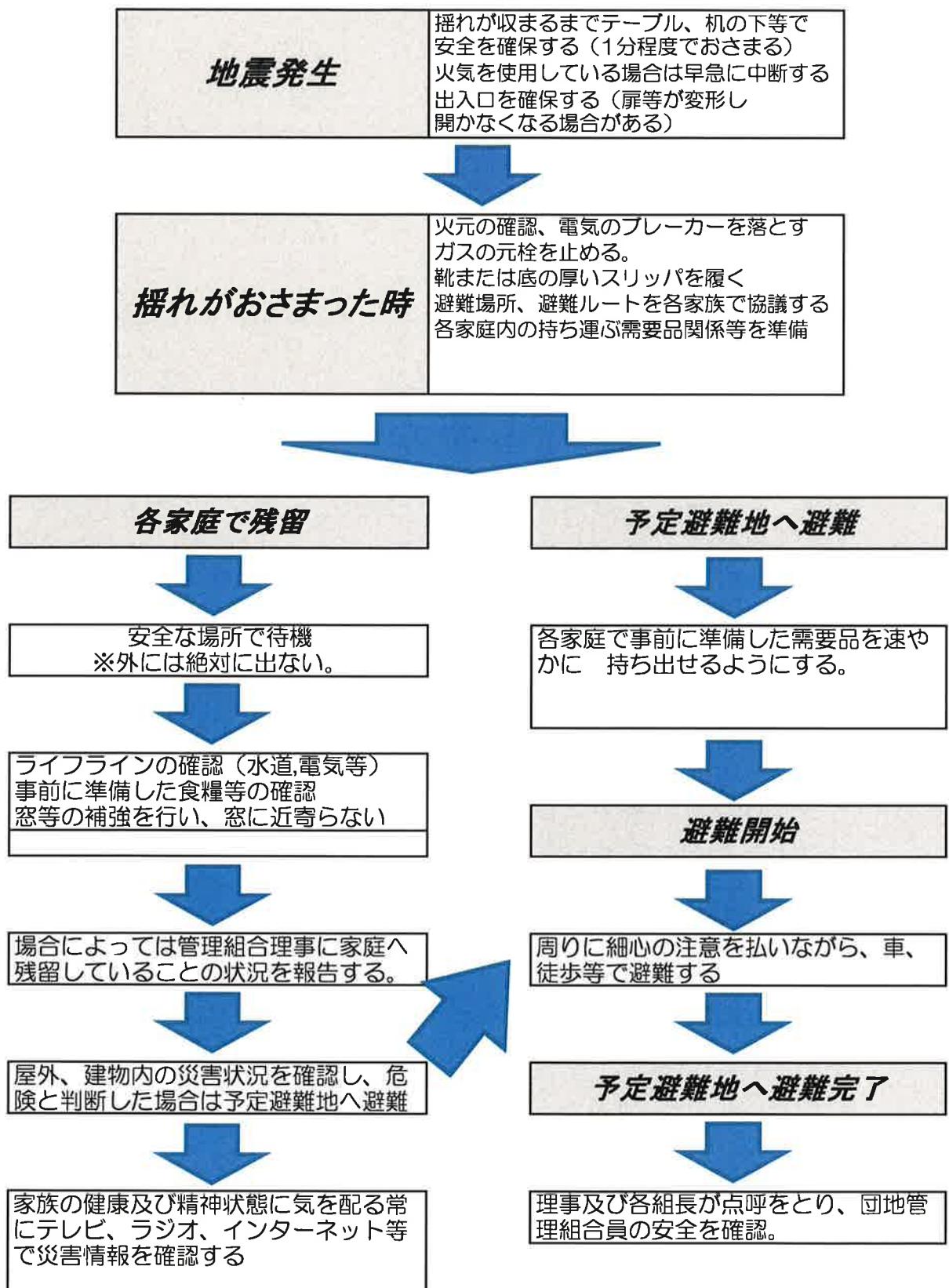
(3) 緊急地震速報について

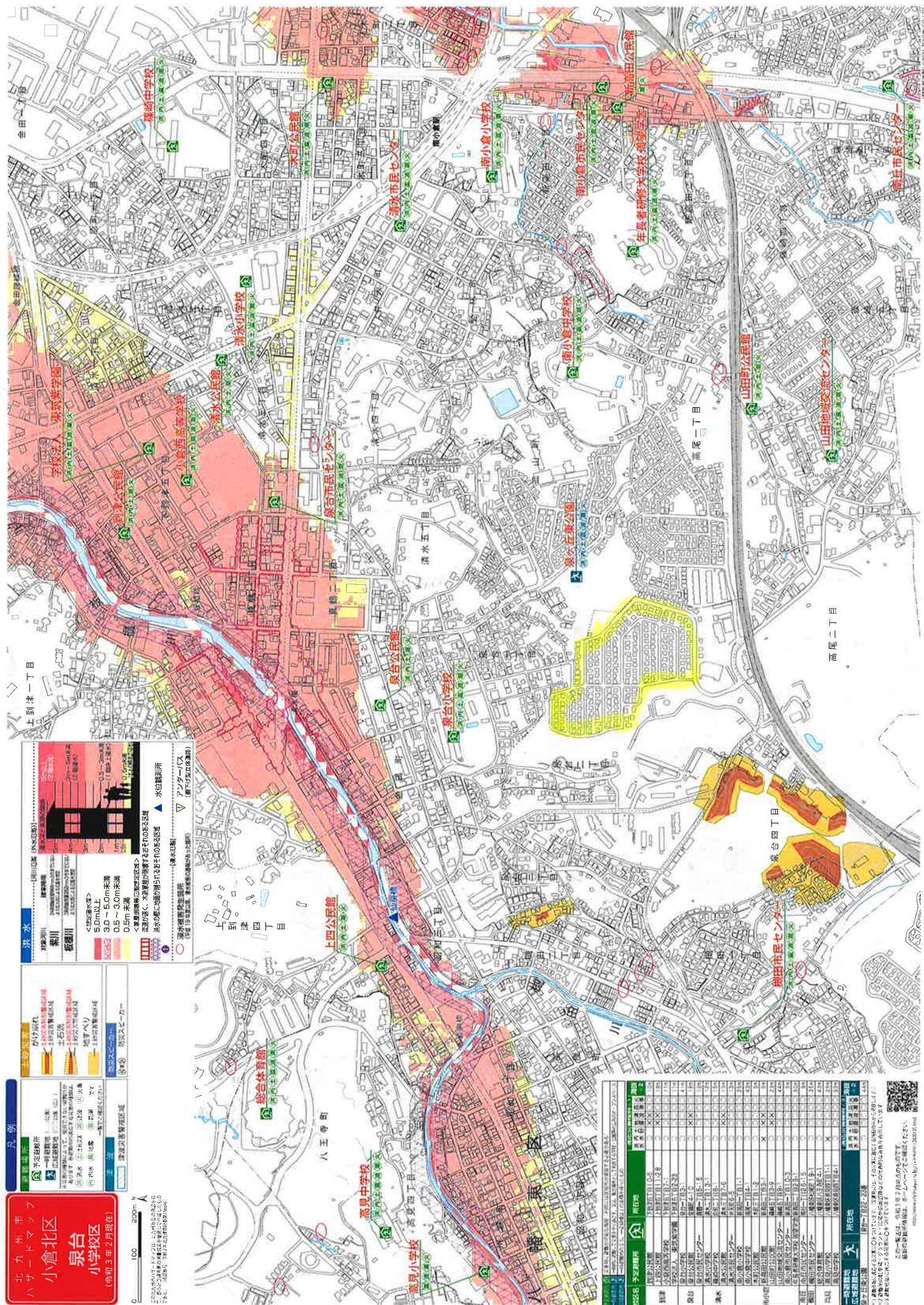
緊急地震速報は唯一の事前情報となります。
 しかし、緊急地震速報を見聞きしてから強い揺れが来るまではごくわずかな時間です。
 震源が近い地域では、間に合わない場合もあります。
 ですので、揺れを感じたときは、身の安全の確保を素早く行うよう心掛けましょう。

風水害時対応フローチャート



地震時対応フローチャート





119番通報マニュアル

市内の119番通報は、全て消防指令センターにつながり、通報を受け付けると直ちに最寄りの消防署から消防車や救急車などを出動させます

※固定電話を使用する場合

局番等付けずに【119】をダイヤルすれば指令センターへつながります。下記の通報の流れを参考にし、通報を行ってください。

※携帯電話やPHSを使用する場合

固定電話同様に局番を付けずに【119】をダイヤルすれば指令センターへつながります。しかし、発信場所の特定がしにくい為、明確な場所（近くの建物、交差点名等）を伝えてください。付近に公衆電話（住所表記があり）がある場合は、公衆電話を使用しましょう。

119番通報の流れ		
	火事	救急
指令センター	119番消防です。火事ですか？ 救急ですか？	
通報者	火事です	救急です
指令センター	あなたのお名前と住所を言ってください。	
通報者	【氏名】です。住所は、【所在地の住所】です。	
指令センター	近くに何か目標物はありますか？	
通報者	近くに目立つものがあれば伝える	
指令センター	何が燃えていますか？	どうされましたか？
通報者	【燃えているもの】が燃えています	【病人】が【病人の状態】です。
指令センター	今お使いの電話番号を言ってください。	
通報者	【使用中の電話番号】です。	
指令センター	わかりました。直ちに消防車（救急車）を出動させます。	

119番通報時の口頭指導について

119番通報受付時に、救急車が到着するまでの間、通報者に対して電話口で心臓マッサージや止血等の応急措置を指導する場合があります。慌てずに落ち着いて指示に従うようにしてください。

非常用持出物品チェックリスト No1

①貴重品類

品物	準備	持出
保険証		
身分証明証		
現金（特に10円玉は公衆電話で使用できるため、多目に準備）		

②避難用具類

懐中電灯、ライト（可能であれば1人1個が望ましい）		
携帯ラジオ		
ヘルメット、防災ずきん（各自被る）		
笛、ホイッスル（場所を知らせる）		
避難用マップ		

③生活用品

厚手の手袋		
毛布		
缶切り		
ライター、マッチ		
ナイフ		
携帯用トイレ		
ビニール袋（透けないタイプのものが望ましい）		

非常用持出物品チェックリスト No2

④救急用具

品物	準備	持出
救急箱（絆創膏、消毒液、包帯等）		
処方箋の控え、お薬手帳（各自）		
胃腸薬、便秘薬、持病の薬		
大人用紙おむつ		
ティッシュ、ちり紙		
生理用品		
ウェットティッシュ		

⑤非常食品

乾パン（最低3日分）		
缶詰		
栄養補助食品		
アメ、チョコレート		
飲料水（最低3日分）		

⑥衣料品

下着、靴下（各自）		
長袖、長ズボン（各自）		
防寒用ジャケット（各自）		
雨具(各自)		
タオル、ハンカチ		

⑦その他

携帯用カイロ		
ラップ（防寒、止血、衛生面とあらゆる使用法あり）		
携帯用工具		

備蓄物品チェックリスト No1

①食料品

品物	準備	持出
レトルト食品（おかゆなど）、アルファ米		
インスタントラーメン、カップみそ汁		
飲料水（一人1日3㍑が目安となります。最低3日分は備えましょう）		

②生活用品

給水用ポリタンク		
カセットコンロ		
紙皿、紙コップ、割りばし		
水のいらないシャンプー		
ロープ		
工具セット		
ほうき、ちりとり		

※備蓄用品は、各家庭内に残留する場合に使用するものです。非常用持ち出し品と合わせて使用してください。